

「新居浜の相撲物語」

～住友相撲を中心として、写真や番付表は現代に何を語りかけるのか～

1 「新居浜の相撲物語」 本の特徴

186頁のうち132頁が写真または過去の文書のコピーで70%を占める
そのうち80頁、すなわち60%が住友相撲、33頁が番付表
青年団の相撲大会など写真や資料が多く見て楽しむ本

2 新居浜地方の相撲の歴史は？

江戸時代の寺社での奉納相撲大会

銅山峰・目出度町の大山積神社（いわゆる山神社の奉納相撲）

3 住友相撲 明治44年、大正9年

明治44年の番付表から見る住友相撲

大正9年の番付表から見る住友相撲

4 住友相撲 昭和初期、別子開坑250年

昭和4年の番付表から番付の見方を考える 満州事変

昭和10年と12年の番付表の比較から

別子開坑250年と昭和15年の住友相撲大会

5 住友相撲 太平洋戦争 戦後住友相撲の始まり 別子鉱業（採鉱）の活躍

戦時下と住友相撲

戦後の住友相撲はどのようにして始まったか

奉納相撲の今昔 鷲尾先生に聞く

戦後の大関立錦さんのアルバムより

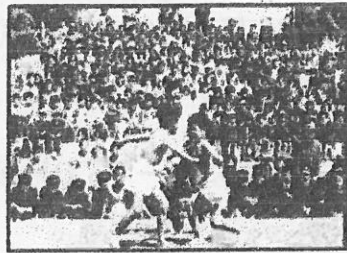
6 今相撲がおもしろい

外国人力士

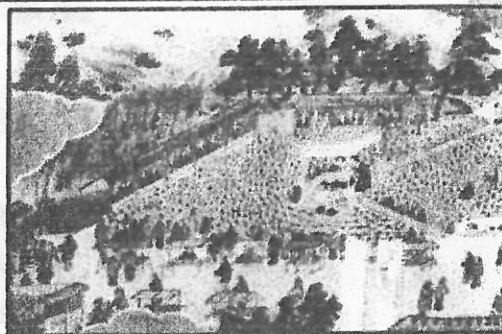
BS放送

相撲女子（スー女、土俵ガール）

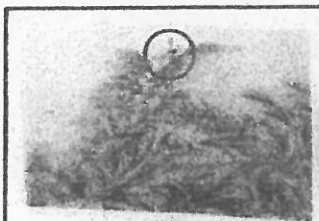
新居浜の相撲物語



神社における奉納相撲

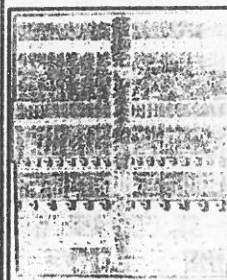
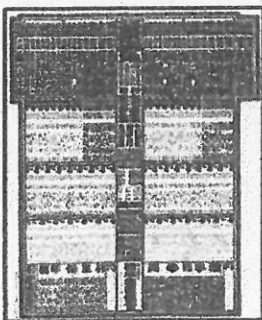
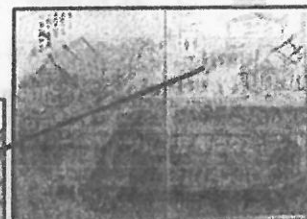


銅山越えと目出度町大山積神社境内にあった土俵場



銅山略式志

尾崎一樓画



大正15年

大正9年

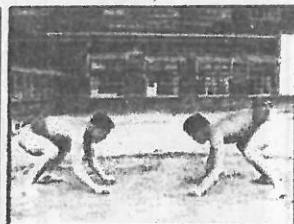
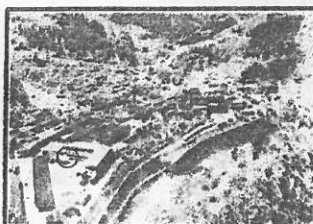
東平の土俵場



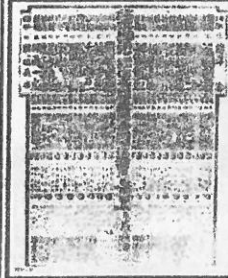
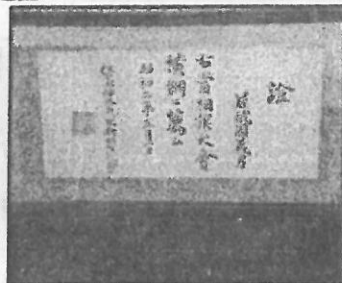
新田社宅倶楽部下の土俵場



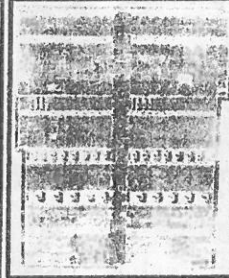
端出場の稽古場 玉津島と立鯨の仕切り



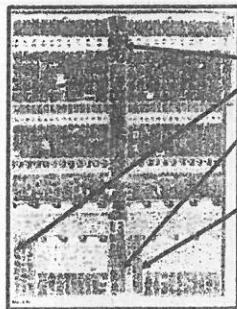
祇園山義男さんのご家族が山田社宅での展示の時
お借りした化粧まわしと證



昭和3年



昭和2年



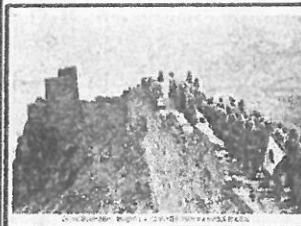
千穂蘭園大吟

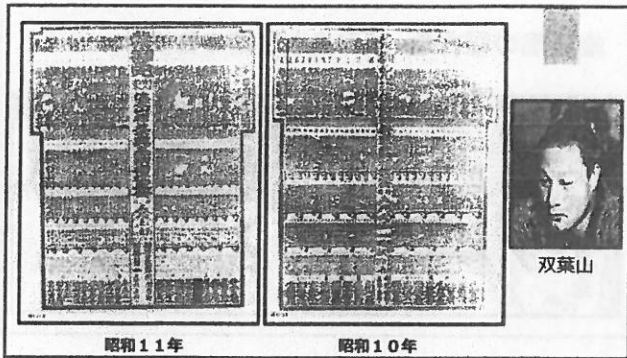
「こうけんかいわの
しんきをほうのうす」

舊五月一日、二日兩天二日即新區角野村
川口新田大山區(嶺のまちがひ)神社植樹場二於テ
奉納植樹ヲ仕ル
初日 土曜禮式 二日 土曜祈禱式(午前八時三十分)

「ごめんこうむる」
藥柳免

満州事変（昭和6年）





昭和11年

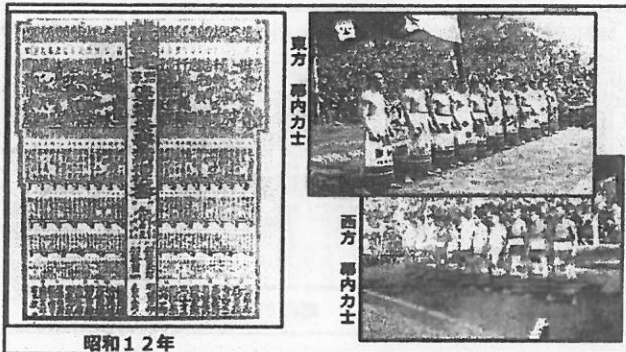
昭和10年

双葉山

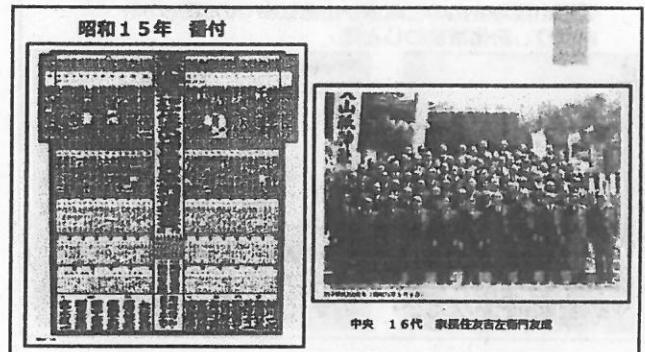


昭和11年 横綱化粧まわし

乾馬山 鳥巻山 軍川

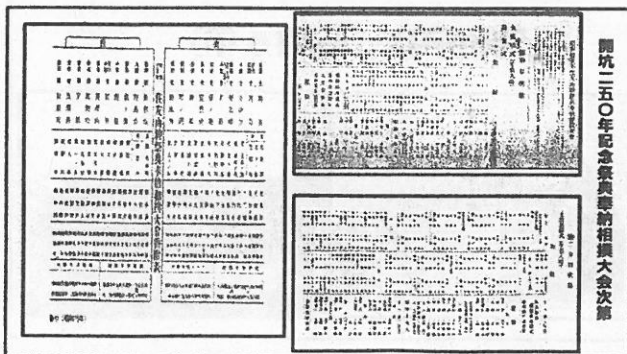


昭和12年

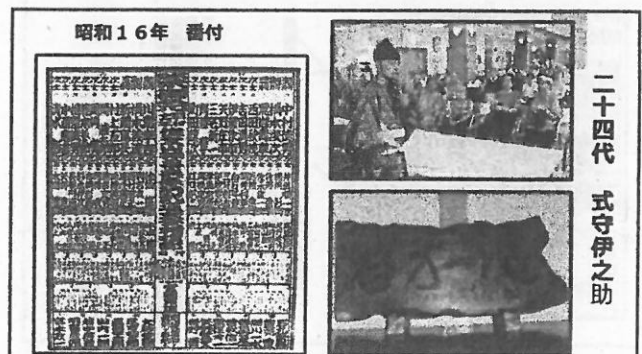


昭和15年 番付

中央 16代 家居住友吉左衛門友成



開坑二五〇年記念祭典奉納相撲大会次第



昭和16年 番付

二十四代 式守伊之助